

## 会議顛末書

					記録者	佐々木英一	
供覧	市長	副市長	室長	課長	課長補佐	主査・係長	グループ員
件名	インターネット市政モニターと市長との意見交換会						
年月日	平成29年6月24日(土)						
時間	午前10時30分～午前12時00分						
場所	龍ヶ崎市役所市長室						
主催者	龍ヶ崎市市長公室						
出席者	龍ヶ崎市インターネット市政モニター 10人 中山市長 松本課長 記録者						
モニター	ニュータウンは空き家が目立ち老化しています。これをどのように防いでいくのでしょうか。						
市長	人口減少の原因の一つとなっている、少子化問題は大きな問題です。自治体単独では大きな効果は出せないで、国の政策と併せてやっていこうと考えています。空き家対策は、今色々な方向から空き家をフル活用してもらえるように取り組みを進めているところです。まちの魅力を感じて来てくださるように、シティセールスを行っています。						
モニター	定住には働く場が必要です。そこに集中的に投資するのはどうでしょう。						
市長	仕事を増やしていくのは大切だと思います。企業誘致は行っているが、まだ進んでいないところがある。できるだけ雇用の受け皿として、企業が来てくれるように進めていきます。						
モニター	若い夫婦が龍ヶ崎で子どもを産んで育てる、そういう環境を作る必要があると思います。そのためには保育所とか受け皿を用意していただくような環境の一つ。もう一つは、どんどん一人住まいの高齢者が多くなってくると思うので、若者とそういうシルバー層がコラボレーションできる場を作る。あるいは、子どもたちとお年寄りが一緒に遊べる保育所を用意する。そういった環境を作ってもらいたいです。シルバー層も何か活動したいが、悶々と家の中にいて結局外						

	とのコミュニケーションを取らないという方が結構います。そこをまちで関係づけてあげるようにしていただきたいです。あるいは空き家もそういった形で一時的にまちが借り受けるような形で整理するだとか、民泊のようにしていくとか。若者とお年寄りが一緒に働ける場を作っていく必要があると思います。
モニター	市内にお元気サロンというのがあります。あの隣に保育児を遊ばせるような場所を併設して子どもたちとお年寄りを関係づけるのはどうでしょう。それと、圏央道によって茨城県は工場誘致が日本一です。車通勤の住宅地としてそういう風に各企業に大いに売り込むことを、ぜひ検討していただきたいです。
市長	龍ヶ崎市の立地の良さをしっかりと生かしていきたいと思います。この間は高安も功績を残し、稀勢の里が横綱優勝しているので、これを勢いにして上位を狙えるようにしていきたいです。
モニター	ぜひとも周辺と連携して観光を興してほしいです。牛久沼も使ってもらいたい。あそこの白鳥は皇居からいただいたそうです。そういう宣伝されても何百人と来ると思います。
市長	去年の暮れに牛久沼土地改良区と龍ヶ崎で同意を得ました。今度、牛久沼周辺5市で市長が集まって会議を開くことになりました。これから牛久沼をどうしていこうかと。例えば、道の駅の後背地でおいしい作物を作る。龍ヶ崎と併せて周辺の農作物をそこでPRしていく。高速だとまっすぐ行ってしまいがちですが、一般道で行く時には道の駅で休憩してもらおう。そういうルートを観光会社と協議提携しながら作っていくことができるのではないかなと思います。
モニター	道の駅が気軽に行って遊べる場所になってほしいです。
市長	ロケーションがいいので、わざわざ来てくれるような道の駅になっていくと思います。現代の口コミといわれる、SNSに配信された動画や画像見て、行こうという人がどんどん増えていくと思います。
モニター	今高速のサービスエリアが充実していて、そこにわざわざ行く若い人たちがいます。そういうのを作っていきたい。特徴がない普通の道の駅を作ってはいけない。
市長	これはずっと言われ続けています。ありきたりな道の駅を作ってくれるなど、

	皆さんの願いですね。
モニター	牛久沼は周遊できるように道が繋がっていません。ですからサイクリングロード、もしくは散歩道とか、沼を景観できるようにしてほしいです。
市長	道の駅周辺に観光ルートを設定したくても道が繋がっていません。舗装をしてルートを繋げていき、周遊できるようにしていきたいと考えています。
モニター	人を呼ぶために、一周桜を植えるなどして名所にするのはどうでしょうか。
モニター	牛久市にある桜が大変見事です。道の駅からですと、繋げば歩いて行ける距離ですので、そこを目玉にしたらどうでしょうか。
市長	企業誘致や人を呼び込むことも大事だと思いますが、生活のボトムアップをしていった方がいいと思います。若い世代にとって何でもないことを、高齢者は日々の暮らしの中で困っている。大きいものを作ってお金をかけるよりも、高齢者のフォローや小さい改善を積み重ねた方が町としての魅力が上がると思います。これからのボリューム層に向けて、高齢になって過ごすなら龍ヶ崎がいいと思ってもらえるようなアピールをしていった方が、今後としてはいいと思います。
モニター	私が住んでいる南ヶ丘は龍ヶ崎の南の端です。市の巡回バスの本数が非常に限られていて不便な状況です。利用者が少ないから少なくという事情も分かりますが悪循環になっています。本数を増やすとか、また、乗換券を渡して巡回バスに乗るですとか。足一つを考えても大変厳しい状況にあります。行政としてこの高齢化に伴う足の問題をどう考えていきどう改善するか。場合によってはボランティア組織をもっと作っていただいて、それに支援をしていただきたいです。二つ目は、高齢化に伴うゴミの問題です。ごみ当番を免除してくれという高齢者が増えています。すると当番が早く回ってくるということで、若い世代が非常に不満を持ちます。当番者の作業をいかに改善するか提案していますが、このあとに見えるのが、ごみ出しすらできなくなる高齢化の時代がこれから回ってくる。ごみ出ししても適当な出し方をして、地域住民との壁が生じていく。すると高齢者が閉じこもって、ごみ問題に背中を向けるとごみ屋敷の問題に発展する可能性もある。現実にもこういう問題がもう足元に迫っているということで、実に悩んでおります。
モニター	足の問題であれば、今インターネットで個人間でのカーシェアリングのシス

	<p>テムがあります。ただ、インターネットを使うための最初の入り口ができない高齢の方が大勢いるということが問題です。どんな高齢の方でもインターネットに繋がることができるという環境を作ることが、もう全ての問題をクリアにすることだと思います。市で登録サイトを作り、車を出す人はそこに登録をする。1回500円で登録をしている人が、何時から何時まで車を出すことができる、そういうシステムも構築できれば。もちろん料金は発生します。ボランティアでやろうとすると若い人にしわ寄せがいて、若い人が嫌になるということが起こりますので。車以外でもパソコンで困った時に市のサイトで、近所の誰々さんが相談に乗れます、とかそういう風な窓口を作ってほしい。高齢の方がインターネットに接続できる端末を持っているかどうか、端末の使い方もあるので、その辺を整えてもらえたら住みやすい環境になると思います。</p>
モニター	<p>年を取った人が全員パソコンを使えるようにするという考えはおかしいと思います。使えなくてもここに来たらインターネットをやってあげるよって。</p>
モニター	<p>だからそうなんです。誰々さん家に行けば、頼めるという環境はできれば。その誰々さんも高齢者です。年を取った方と若い人を直接繋げるのはすごく難しいことです。仲の良い誰々さんには頼れる。でも誰々さんが困った時には500円なりで若い人に相談し、その問題は解決するみたいなそういうネットワークを作ることができる。</p>
モニター	<p>島国で、各家庭にパソコンを置いて指導員が行く取り組みを行っているところがあって、その成果がどこまで上がるか注目されています。その結果を参考にされるといいと思います。</p>
モニター	<p>私の住んでいるところは一番北の外れです。80戸くらいで平均年齢はだいたい76歳です。その中でインターネットをやっている人は、若い人も含めて15件くらいです。インターネットに頼るというのは簡単なようでなかなか難しい。他の自治会では、月500円でインターネットを教えているところがあります。そこに行けばどうしたらいいか教えてくれる。先ほどのごみの問題もそうですが、行政に頼りきりではなく、各地域で自分の町内は自分で何とかしなければいけないと思います。</p>
モニター	<p>りゅうほーには色んな講座が載っています。興味があったら電話して自分から一步踏み出すことが大事だと思います。</p>

モニター	市の登録サイトはただの登録制度ではなく、安否確認まで行うなど柔軟に対応できたらいいと思います。
モニター	高齢者の一人暮らしですと、空き家にはならなくても部屋がたくさん余ります。部屋を貸してその対策の為に、流通経済大学にいる若い学生たちの大きなエネルギーを使っていただけたらいいと思います。
市長	流通経済大学は本当に大きな力ですが、シャトルバスで駅と大学間だけで、龍ヶ崎の地に足を下ろさない学生が多いです。運動部の学生だけは寮に住んでいます。下宿やシェアハウスは空き家対策になると思います。龍ヶ崎で生活してくれるように、学生を増やしていくためのアイデアとして今後の参考にさせていただきます。交通について、乗り継ぎ券は考えているところです。今後できると思います。それと、市には乗り合いのタクシーがあります。これは自宅の住所を登録していただくと家まで迎えに来てくれます。ただ目的地が限られたところなのであまり普及していません。公がやるコミュニティバスは民業圧迫してはいけないという縛りがきつく大変難しさがあります。ですが、本数が少ない、利便性が低い点はまだまだ改善していきたいと思います。あとは、インターネットです。高齢者も含めて享受できるような体制作りですね、各コミュニティではパソコン教室を開いています。やはりコミュニティが大切だということです。中核的地域で13地区中、11地区までコミュニティができています。地域の人と人の繋がり、または助け合いを、単体の自治会だけではなく、横の繋がりでも支えていってほしいです。送迎のサービスも何地区かでスタートしていますが、ボランティアといってもお金をとっています。これも一つのきめ細やかなサービスとして、今後広がっていくと思います。地域の力は長寿社会になればなるほど大切になっていくと思います。
モニター	龍ヶ崎の強み、顔は何ですか？
市長	私が龍ヶ崎を紹介する時は、水と緑に恵まれていて、衣食住、農商工のバランスのとれた町です、という紹介の仕方をします。加えて、災害が少なく気候も安定しています。こんなに暮らしやすい場所はないと思います。そこが一つの売りだと思います。
モニター	道の駅が全国で1117箇所ありますが、かなりの道の駅が失敗しています。今回、龍ヶ崎が計画されている道の駅コンセプトは、失敗する可能性が多分にあると心配しています。失敗したらどうしますか？水辺のロケーションだけで成功しますか？

市長	水辺のロケーションというのは最大限に生かさなければならぬ、と思っています。生かせれば足を運んでもらえる道の駅になると思います。
モニター	きれいな道の駅というのはたくさんあります。龍ヶ崎は失敗する方のコンセプトです。成功させる為にどうするかということを真剣に考えていただかないと。いろいろな問題が解決されないままに道の駅にお金を投資して、数年先に黒字になって戻ってくるのかどうか。そこまで計算された上でプロジェクトが進んでいるのでしょうか。
市長	道の駅は、一般の国道に休憩機能を作るということで国土交通省が始めたものです。あそこは通過交通量がかなり大きく、その人たちの利便性を上げるのが一つの目的です。あとは龍ヶ崎市民や近辺の住民も行きたくなる場所にしていかなくてはなりません。例えば、地元産品の直売所を充実させること。佐貫駅からシャトルバスを出す話もありますし、そういう人たちにもぶらっと買い物に来て、水辺の風景を見ながらお茶でも飲んで帰ってもらえたら。そういう場所にしていくのも大事だと思います。
モニター	30年前は、道の駅を作る近辺ではうなぎ屋さんが何件もあって、修学旅行で泊まるようなホテルもありました。今それが全部廃屋になっています。そこに道の駅を作って本当にお客さんが来てくれるんですか。
市長	高速道路の影響がかなり大きく、うなぎ屋さんがどんどん潰れていってしまいました。観光バスは道の駅に休憩場所として寄ってくれます。茨城県の入り口ですから必ず寄ってもらえる場所にしていきたいという願いがあります。観光バスが寄ってくるとそれなりに消費してくれます。実は龍ヶ崎の場合は、もう一回チャンスがあります。6号バイパスがつくばインターと将来繋がります。つくばインターから道の駅、牛久沼まで恐らくバスで行くと15分で来られる場所になります。すると、水辺のきれいな道の駅があると寄ってもらえる可能性が出てくる。飽きられないようにリニューアルも大切です。借金はもちろんありますが、国が整備してくれるエリアがあります。高齢者が住みよい、健康で長生きしてもらえる環境づくりに極力影響を与えないようにやっていくつもりです。いつも申し上げますが、初期投資は一回だけです。初期投資したらその金額は数年経てばすぐ凌駕してしまう。投資的経費と経常経費には違いがあります。その辺はしっかりと経常経費に影響を与えないように投資経営していくのが、市の行政としてのやり方だと思います。頑張っけてやっていきますので、ぜひご指導お願いいただきたい。

<p>モニター</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・道の駅にウィンドサーフィン場を作るのはどうでしょうか。</li> <li>・牛久沼の小島に渡し船かポンツーンを並べ、そこに行けば富士山と筑波山が見えると宣伝をするのはどうでしょうか。</li> <li>・八間堀沿いに木造の建物と桜並木を作ってはどうか。</li> <li>・馴柴小学校の芝の管理はどうなっているのでしょうか。</li> <li>・街路樹がよく伐採されているのはなぜですか。</li> <li>・青少年育成市民会議やふるさと戦略会議の評価したのでしょうか。</li> <li>・水戸街道も観光ルートの一つとして目を向けるべきだと思います。</li> <li>・龍ヶ崎には野口啓代さんというスポーツライミングの国際的な選手がいるので練習場を作るべきだと思います。</li> <li>・牛久沼の夕日が素晴らしいので目玉にしてはどうか。</li> </ul>		
<p>要措置事項</p>			
<p>情報公開</p>	<p>公開 部分公開 非公開</p>	<p>非公開（一部非公開を含む）とする理由</p>	<p>（龍ヶ崎市情報公開条例第9条 号該当）</p>
		<p>公開が可能となる時期 （可能な範囲で記入）</p>	<p>年 月 日</p>